



## 移動博物館を伊平屋島で開催

県立博物館、伊平屋村、同村教育委員会の主催で、第10回「移動博物館」が伊平屋村で6月5日（金）～6日（土）の両日開催されました。

「移動博物館」は、県立博物館の通常の活動の一端を、館の利用の便に恵まれない地域の方々に見てもらうという趣旨で、毎年各地で開催されています。

今回「移動博物館」は、自然史・考古・歴史・民俗・美術工芸それに戦前の沖縄の写真などの展示会、伊平屋村の自然・考古・民俗に関する文化講座、そして戦前の沖縄と沖縄の自然に関するビデオ放映などが行われました。

特に展示会ではマンモスや恐竜の展示に小・中学生の人気が集まり、また、村民多数の参観があり、盛況のうちに閉幕しました。

### お知らせ

#### 特別展

#### 「海上の邦 おきなわ」

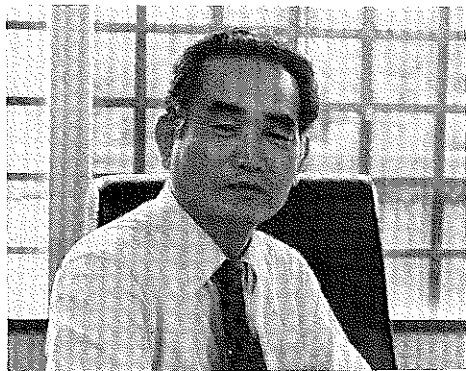
場所：埼玉県立博物館

期間：10月25～12月7日

\*詳細は4ページを御覧ください

# あいさつ

館長 大城 宗 清



この4月に、13年間務めた県立図書館から転じて参りました。

博物館は図書館と同じく、戦後の衣食住にもこと欠く時期にいち早く設立され、40年の歳月が経過しました。郷土の文化に対する諸先輩の深い

思いと、その歴史の重みを、確かに受けとめなければならぬと思っております。

殊に、廃墟の中での文化財残欠の収集といったことから始まった収蔵品は、質・量ともに誇るに足りる素晴らしさです。これも先達のたゆまぬ努力と多くの方々の御協力の賜物です。

これらの収蔵品を大切に扱うのは、当然のことですが、そこで問題になるのが、わが館の保管スペースであり、展示機能であります。現施設は造られてから20年になりますが、今ではいかにも狭隘であり、総合博物館としての機能を十分に発揮するためには、新館（9000㎡以上）の建設ということが急務として浮かび上がって来ます。

広く県民に親しまれる博物館として、新館建設に取り組みたいと思っておりますので、ご支援の程、お願いいたします。

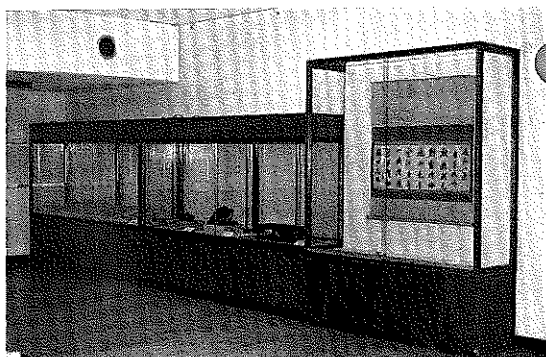
## 新収蔵品展開催

前年度に寄贈され、購入・収集し、移管・返還された資料を一般公開する「新収蔵品展」が去った5月13日（火）～25日（日）の会期で開催されました。

寄贈の部では、具志堅聖児氏の日本画「朝市」・「琉舞」・外1点をはじめとして、熊本県在住の山崎正忠氏から昭和7年当時の「沖縄風景絵図」、吉戸直氏から工芸・歴史資料、翁長良明氏からの大城グスク関係の考古資料などを展示しました。

また、沖縄駐留米軍のデー司令官のご理解とご協力により、県に返還された安里橋支柱4本と、礎盤7点は今回の資料の中でも、特に注目を集めました。

この他、中国冊封使の徐葆光の書や鄭元偉の「近江八景」の書、喜如嘉の平良敏子氏の紺地総緋芭蕉着物、歴史資料の『質問本草』など、購入品を



展示公開しました。

このように、多くの方々のご好意とご協力により昭和60年度も資料の充実をはかることができました。

## 博物館友の会の活動紹介

沖縄県立博物館友の会は昭和55年に結成され、今年で7年目を迎えました。その間博物館の事業に積極的に参加協力し、さらに会員の教養を高めることと相互の親睦をはかることを目的として、独自に講演会や県内各地の史跡や伝統工芸所の見学などを行い、沖縄の歴史と文化を理解し、その普及に務めてきました。また昨年度からは海外研修旅行も実施され活動内容も充実してきました。

創立当初の会員は30名余でしたが、年々増えつづけ、現在は200名余の会員がおります。

昭和61年度は次の事業が計画され実施されています。

- ①第8回史跡巡り「津堅島と久高島の史跡巡り」  
7月12・13日 参加者48名
- ②第9回史跡巡り「中部のグスク巡り」  
11月9日 定員50名
- ③第2回海外研修旅行「台湾研修旅行」  
11月13日～17日 定員45名
- ④常設展示解説会（美術工芸室）  
7月19日
- ⑤首里城巡り  
10月4日（土）午後2時
- ⑥陶芸教室 7月27日・28日



その他

紅型絵葉書を発行販売

友の会だより「赤い瓦」の発行など

### 入会案内

会員には普通会員（大学生を含む）会費2千円、準会員（小中高生）会費千円、賛助会員、会費1口1万円の三種類あります。入会手続き等については、下記友の会の事務局に問い合わせ下さい。

☎903 那覇市首里大中町1-1  
沖縄県立博物館  
☎0988-87-0418（池宮城まで）

## 博物館実習を終えて

博物館を学ぶ学生の実習が、7月29日（火）から8月7日（木）までの9日間、行われました。連日、博物館の機構からそれぞれの専門分野の資料の取り扱い方についての講義と実習がありましたが、終わりにあたって一言感想を述べてもらいました。

幅広い知識と体力、そしてユーモアを兼ね備えた皆様のご指導のお陰で、充実した日々を過ごすことができ、心から感謝しております。

日本女子大 渡久地佳代子

知的体力とユニークさで難解な仕事をさりとやっけてのける姿は、何物にも勝る教養でありまし

た。9日間、有り難うございました。

日本女子大 大里直子

実習を通し、普段、目につかない学芸員の仕事を学ぶことができました。御指導して下さった館の皆様には、大変お世話になりました。

駒沢大 西尾 博

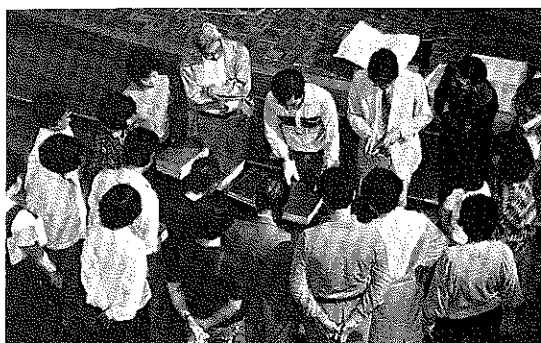
短い実習期間でしたが、学芸員としての実践的な知識を教えていただきました。今後、この経験を生かすよう努力したいと思います。

九州産業大 比嘉祐子

## 文化講座へのご案内

沖縄県立博物館の文化講座は、沖縄の自然・歴史・文化を総合的に学習する場です。講師は館外の専門家及び博物館の職員で、専門的なことをできるだけわかりやすい内容で話してもらい、楽しい学習ができるように企画されています。

今年度前半の6回の講座は小学生から大学生、主婦、教員など多くの参加者があり、好評のうちに終了いたしました。



「おもしろさうし」解説会〔4月19日〕

当館では、昭和61年度の文化講座「絵画解説会」・「織物解説会」・「古銭解説会」の受講者を新たに下記のとおり募集しております。

### 第145回 「絵画解説会」

日時：11月29日（土）午後2時～4時

定員：30名

講師：神山泰治（琉球大学助教授）

★沖縄の代表的な画家である殷元良の作品を中心に沖縄絵画の流れを見ていきます。

### 第146回 「織物解説会」

日時：12月13日（土）午後2時～4時

### 沖縄県立博物館だより No.26

発行年月日 昭和61年10月15日

編集・発行 沖縄県立博物館

住所 〒903 那覇市首里大中町1-1

Tel 0988-86-4353

84-2243

定員：50名

講師：与那嶺一子（当館学芸員）

★当館収蔵の織物の中から特に「手織」について、実際に見ながら解説します。

### 第147回 「古銭解説会」

日時：昭和62年1月24日（土）午後2時～4時

定員：40名

講師：嵩元政秀（興南高校教諭）

★県内各遺跡から出土した古銭および当館が収蔵する古銭について、体系的にわかりやすく解説します。

\* 申し込みは、当館の案内コーナーで受付いたします。電話での受付はいたしませんので、直接お申し込みください。定員に達し次第締め切ります。

### 特別展

## 「海上の邦 おきなわ」

10月25日から12月7日まで、特別展「海上の邦 おきなわ」が、埼玉県立博物館で開催されることになりました。

展示予定資料は、沖縄最古の爪形文土器などの考古資料、交易でもたらされた青磁・中国陶磁・信仰にかかわる獅子・厨子甕・紅型や芭蕉布などの織物など約300点です。会期中の催物は次のとおりです。

#### ・琉球舞踊の公開

11月9日（日） 13時30分

埼玉県立博物館

11月10日（月） 18時30分

埼玉会館ホール

#### ・講演会

11月23日（日） 13時30分～15時30分

講師：外間 守善（法政大学教授）

演題：「沖縄の歴史と文化」